

「Overseas Internship in モンゴル 2024」 募集要項

1. 趣 旨

九州大学教育学部のアジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート（教師、教育行政官、研究者）の養成が、本取組による人材養成像である。

2. 応募資格、募集人数

九州大学教育学部／大学院人間環境学府教育システム専攻の正規課程の学生で、アジア教育に関心があるもの。3名程度を募集する。

3. 派遣先大学及び派遣先機関

【モンゴル・ウランバートル】モンゴル日本人材開発センター（教育学部協定先、MOU 締結済）

4. 日 程

8月28日(水)-9月14日(土) 17泊18日（予定）

5. 概 要

モンゴル日本人材開発センター（以下、「日本センター」）は、JICA および国際交流基金の支援のもと、モンゴルにおける日本の総合的な情報発信拠点として、モンゴルの市民向けにビジネスセミナー、日本語教育、日本の文化紹介、日本留学に関する情報提供をはじめ、種々の日本関連イベントを実施しています。日本センターではグローバル社会で活躍を希望する大学生の就業体験を目的として、日本の 大学生のインターン受入事業を行っています。日本センターにおける就業体験は、インターン生が国際協力の仕事への理解を深め、かつ異文化体験を通じて国際性を育む機会となるものです。なお日本センターには5名の日本人専門家が JICA 及び国際交流基金から派遣されており、またモンゴル人職員の大半が日本語で業務を行っているため、日本語で就業体験が可能です。

6. 受け入れ手続き

学生の履歴書・志望理由書を提出いただき、センターで受入の可否を決定いたします。日本センターと大学間でインターンシップ協定を締結のうえ、受入を実施します。

7. 受け入れプログラム

(1) オリエンテーション

日本人専門家およびセンター職員による下記オリエンテーションの実施

1 日本センター事業紹介 2 安全講習 3 モンゴル文化紹介 4 初歩モンゴル語講座

(2) ビジネス課・日本語課・図書交流課における就業体験

インターン生の希望・関心に基づく各課での就業体験プログラム

1 ビジネス課 :ビジネスコースのセミナー聴講、企業訪問への随伴

2 日本語課 :日本語授業の聴講・参加、教材作成支援

3 図書交流課 :図書室業務、日本語学習者との交流イベント

(3) 国際協力現場視察 在モンゴル日本大使館、JICA 技術協カプロジェクト、青年海外協力派遣隊の派遣先など、日本の国際協力の現場を訪問しレクチャーを受けます。

その他にも日本センターで実施される各種イベントの機会にはインターン生に積極的に参加していただきます。

8. 費 用

1名につき 30,000 円（受入プログラム開発費として）※この費用には航空賃・現地滞在費用・海外旅行保険料、現地での PCR 検査代金は含まれません。

9. その他

本研修は、現地で学生自身で行うものであることを理解して、申し込んでください（往路のみ、教員が関与する可能性はありますが、全日程で教員は随行しません）。日本センターに近いリーズナブルなホテルをはじめ種々の情報をご提供いたしますが、飛行機予約、空港送迎・ホテルの手配、PCR検査は学生ご自身で行っていただきます。（昨年実績：宿泊費 1泊 20ドル、航空券往復 14万程度）

10. その他、単位認定など

本事業「海外インターンシップ」は「Overseas Internship I・II」として単位認定を行う。1年生が参加した場合の単位認定はないものとする。

11. 奨学金など

審査や諸条件により、九大基金（6万円）、および、JASSOの協定派遣（7万円）の奨学金が本事業に適用される可能性がある。詳しくは、申込後に案内する。

12. 申し込み期限と申込先

申し込みを希望する場合、保護者へ学部からの案内を見せ、十分に実施の趣旨とリスクを認識していただいた上で、申請書と志望理由書、誓約書を添えて、5月15日(水)までに、教育学部学務窓口まで提出ください。

13. 問い合わせ先

不明な点があれば、問い合わせください。

竹熊 尚夫 教授（教育学部 国際教育環境学講座 比較・国際教育第二研究室）

takekuma.hisao.847@m.kyushu-u.ac.jp

木村 拓也 教授（教育学部 教育社会計画学講座 教育社会学研究室）

kimura.takuya.329@m.kyushu-u.ac.jp

令和6年4月24日

関係各位

九州大学教育学部
教育学部長 田上 哲

「Overseas Internship in モンゴル」における本大学学部生の
モンゴル短期研修についてのご理解へのお願い

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私たち九州大学教育学部では、本学の国際化の計画に基づき、教育学部が持つ多様なアジアとのネットワークを活用しながら、「Overseas Internship in モンゴル」を実施することになりました。アジア圏を中心とする国際的研究と教育の実績を活用し、文化的多様性への感受性と歴史的社会的文脈の理解力を育み、アジア教育のエキスパート(教師、教育行政官、研究者)の養成に基づく取り組みとなります。

国際コース設置以降の授業科目化を目指し、コロナ禍以後、初となりますが、今年度、特に、海外の教育事情を学ぶために、モンゴルへの短期研修を企画しました。添付の日程表にありますように、8月28日(水)から9月14日(土)までの17泊18日でモンゴルを訪問し、モンゴル日本人材センター(国際開発機構[JICA]、国際交流基金[JF]の共同事務所)のご協力を得まして、学生は、モンゴルの国際、教育実践について勉強、見学し、問題意識をより焦点化させることとなります。アジアという地域に赴くことで、アジア文化という鏡を通して生成する「眼差し」が自身に向けられる時、各々のアイデンティティの何が変容し、何が変容しないのか、体験する貴重な機会になると考えられます。具体的には、国際開発機構[JICA]、国際交流基金[JF]の職員の方々(日本人を含む)と共同してインターンシップを行ったり、現地教育機関への訪問などを行う予定です。

保護者の皆様におかれましてはご心配のことと存じますが、短期海外インターンシップ研修の趣旨にご理解をいただけますようお願い申し上げます。本研修によりモンゴルの国際・教育関係者・児童・生徒・大学生と本学教育学部の学生・教育交流の中で、それぞれの学生が教育学の幅広い知識と研究方法を学びとることができるよう私共も期待しています。

また、今回の海外研修は教育の一環として実施するもので、学生の主体性に任せるプログラムになり、学生自身で海外での生活を行うこととなります。現地のモンゴル日本人材センタースタッフによるガイドもお願いしております。

本事業に参加する学生には学生教育研究災害傷害保険(もしくは海外旅行保険)に加入することを義務づけております。往路を引率する教員も万全を期して対応していく所存ですので、添付の海外渡航届にご記入、ご捺印いただけますようお願いいたします。保険加入並びに保護者の承諾のない場合はモンゴル研修への参加はできないことになっております。

保護者の皆様のご理解とご協力の程お願い申し上げます。

謹白

九州大学教育学部

「Overseas Internship in モンゴル」実行委員会
担当教授：竹熊尚夫・木村拓也